

第13回奄美考古学会 沖永良部島大会

Amami Archaeological Society

Traces of Ancient Life Preserved in Time



紀元前の痕跡に触れる。

2026 **08.22** ^S_U_T

〔開催時間〕 13:00 – 17:40

〔会場〕 和泊中学校あかね文化ホール（和泊町手々知名130）

〔テーマ〕 『沖永良部島の人はどこから来たのか』

〔入場料〕 島内在住者：300円/島外在住者：500円（資料代として）

〔問合せ〕 奄美考古学会沖永良部島大会事務局 0997-92-0911

第13回奄美考古学会（沖永良部島大会）の開催について

～ 沖永良部島民の皆さまへご案内 ～

奄美考古学会

残暑の候、ご清栄のことと存じ上げます。

このたび、琉球大学・大学院医学研究科 木村亮介教授の率いる研究班（文科省科研費 学変A「統合生物考古学」B03 班「琉球列島における先史人類および文化の形成」）と合同で、下記のとおり学会を開催する運びとなりました。

沖永良部島では、令和8年2月17日に「沖永良部島古墓群」が国指定史跡となりました。同古墓群は、奄美・沖縄・南九州の文化交流を示す貴重な遺跡であり、島に根付いた風葬墓・横穴掘込墓の歴史や、そこに葬られた人々の来歴に対して大きな関心が寄せられています。

本会では、古人骨を対象とした最新のDNA研究や形質人類学、考古学研究から琉球列島における人の移住や交流、文化形成を考えてみたいと思いますので、多くの島民の皆さんのご来場をお待ちしています。

- 1 主 催：奄美考古学会
- 2 共 催：文科省科研費 学変A「統合生物考古学」B03 班
- 3 後 援：沖縄考古学会
和泊町教育委員会
知名町教育委員会
- 4 日 時：令和8年8月22日（土）13:00～17:40
- 5 場 所：和泊中学校 あかね文化ホール（和泊町手々知名130）
- 6 テーマ：『沖永良部島の人はどこから来たのか』
- 7 内 容：別紙のとおり
- 8 その他：資料代として300円をいただきます。

※島外から参加される皆さんは資料代500円となります。



〔お問合せ〕 奄美考古学会沖永良部島大会事務局
北野堪重郎・呉谷有哉
TEL 0997-92-0911
（和泊町歴史民俗資料館 文化財作業室）
川口雅之（事務局長／鹿児島県文化財課）

【開催日】 令和8年8月22日（土）

1 場所 和泊中学校 あかね文化ホール（鹿児島県大島郡和泊町手々知名 130）

2 参加者 奄美考古学会員及び関係者 / 一般島民

3 タイムスケジュール

12:30 受付開始

13:00 開会行事

13:10～14:10 「琉球列島における人類の出現・拡散と文化の形成」

琉球大学 木村 亮介

14:10～14:40 「沖永良部島イクサイヨー洞穴遺跡（縄文時代・中世）の発掘調査成果」

志學館大学 竹中 正巳

14:50～15:20 「国指定史跡沖永良部島古墓群の特徴と葬られた人々」

知名町教育委員会 仲田 眞一郎

15:50～16:20 「国指定史跡奄美市宇宿貝塚の再評価（中世）と史跡整備」

奄美市教育委員会 川上 晃生・喜友名 正弥

16:30～17:00 「奄美群島における先史土器の胎土分析」

沖縄県立博物館 山崎 真治

17:00～17:30 「徳之島の水中遺跡の調査と活用について」

伊仙町教育委員会 與嶺 友紀也

17:40 閉会

